



子どもが職業体験をする「ミニかわごえ」

様々な団体との協働 子どもの健全育成



NPO
法人

子ども大学かわごえ
(川越市)

企業

有限会社三澤屋木材
(川越市)
JCN 関東 (旧・川越ケー
ブルテレビ株式会社)
(川越市)
その他…川越工業高校など

NPO法人が2010年から始めた「ミニかわごえ」は、子どもたちが“遊びを通して働く”体験をしながら自分たちで“まちづくり”をするという試み。
参加する子どもたちは市民登録をし、職業紹介所で仕事を選ぶ。働くとき銀行で「ミニかわごえ」内で使える通貨を支払われる。
様々な仕事を提供するために、地元の企業や学校などの様々な団体が協力した。

協働のきっかけ

小学生に大学の先生が授業を行う「子ども大学」を主な活動としているNPO法人では、対象としている小学生に、ドイツのミュンヘンで始まった「ミニ・ミュンヘン」をモデルとした、働く体験ができるイベントを県内でも実施したいと考えていた。
地元の企業に声をかけたところ、木材業者やケーブルテレビなどが協力。
地元の工業高校も、ものづくり体験ができるお店を提供するなど、様々な団体が参加するイベントになった。

協働のメリット

NPO
法人

NPO法人の会員やボランティアがお店で働く子どもの指導をしているが、企業が参加することで材木屋やテレビ局のような仕事も体験させられることができた。
材木屋での「丸太切り」やカメラの前でのインタビューなど、子どもたちが喜んでくれる仕事の提供は、主催者としてありがたかった。



子ども記者が
知事にインタビュー

企業

自分たちの仕事を子どもたちが楽しそうに取り組んでくれたので嬉しかった。
また、ボランティアスタッフとして参加した中高生にも、働くことを一緒に考えてもらえる機会ができた。

苦労・工夫したこと

NPO
法人

専門の技術や機器が必要な職業体験ができるよう、もっと多くのものづくり関連の企業の参画を強く望んでいる。
多くの企業を巻き込めるよう、例えば企業OB層の会員を増やすなど、企業への働きかけを積極的に行いたい。

企業

材木屋の当日の運営は社長が担当したが、もっと早い時期に木材業組合に呼びかけていれば、他の材木屋から若手の社員が参加できたのではないかと考えている。



職業体験 小学生の参加 高校生の参加